

RPAご提案

令和6年2月18日
株式会社エンジニアズ

1.背景

労働人口の減少

長時間労働

労働生産性の低下

待遇格差

2.要件の洗い出し

○削減時間の多い業務はどれか？>>>ではなく>>>一部でも自動化して楽になる業務は何か？

- ・削減時間が少ないとしても、現場で本当に負担となっている業務を洗い出す
- ・「今面倒な業務を10個出して」「手が離れたらうれしい業務を10個出して」
- ・業務のプロセスを細分化したうえで、まずは一部のプロセスを自動化できないか考える

<<RPAで出来ること>>

○あらかじめ決められた業務を繰り返し実行するのが得意

- ・コスト削減
- ・精度の向上
- ・時間短縮・効率化
- ・属人化の解消

3. どうすればRPAを導入できるか

繰り返し処理する仕事をリスト化



対象作業の一部を無料版で試作



RPAツールの選定



導入

4. 導入の流れ

Step1. コンサルティング・業務調査・業務分析

- ヒアリング、業務調査。実現度やコストメリット、さらには導入後の保守の観点で業務調査を実施します。
- 調査をした結果をもとに業務リスト、業務フロー図に落とし込み、現状を洗い出しします。
- 各業務の量、難度、頻度を分析し、適用しない業務や省略できる業務を精査していきます。

Step2.コンサルティング・範囲決定

・ RPA適用範囲を特定し、適用範囲に合わせてRPAのシナリオ開発の定義、運用・保守の体制の定義を行います。

・ 業務リスト、業務フロー図を元に、RPA適用範囲を特定します。同時にRPAツールの選定、RPA適用外の解決手段（別システムの導入、手運用など）の提案を行います。

・ 導入の決定したRPAの適用に合わせてRPAのシナリオ（RPAの動作する手順のプログラミング）の定義やRPAの導入、管理、ローンチ後の運用、保守などの定義を行います。

Step3.導入支援。設計・開発

- ・ RPAツールの導入、設計、シナリオの開発を実施します。

- ・ RPAシナリオ開発。業務フロー図をもとにRPAのシナリオを開発していきます。シナリオとは、RPAが動作する手順のことで、途中でエラーが起きないように慎重に開発をしていきます。

- ・ RPAテスト検証・納品。シナリオの開発が完了したらテスト検証を実施します。想定どおりの動作なのか、予期しないエラーが発生しないかを検証します。この時点でも定義から漏れたイレギュラーやルールが出てくることもあるため、それをRPAで実行するのか、手運用するのか含めて調整していきます。全てが問題なく動作するのを確認し、納品いたします。

Step4.運用保守・活用サポート

・導入後に活用できない、思ったよりも効果がないというRPA本来の有用性を実感できない企業に対して、より高度で効果的な運用の改善提案をいたします。

・定期的に導入企業の運用状況をウォッチ。

・Webページやシステム・ソフトウェアのバージョンアップや通信環境などの影響を受けます。また業務フロー自体の変更もありえるため、日々メンテナンスは必須になります。

5.メガバンク向けユーザーID管理システムに適用した場合

- ・メールによる定期的・随時の連絡。例えば、変更履歴やログ出力を該当オペレーターに定期的に配信。

- ・人事情報システムとISVGシステムとのRPAを利用したシステム連動・省力化

- ・問い合わせ対応

- ・ISVGシステムや外部開発機能への入力処理を自動化

- ・システム横断的な業務に適用できる

6.RPAツール例

- BluePrizm・・・英国の多国籍ソフトウェア企業。2001年に設立の先駆者。
- BizRobo!・・・RPA Technology社製。外部接続(Google Sheetsなど)。
- AutomationAnywhere・・・オートメーション・エニウェア社製。従来のRPAと、自然言語処理や非構造化データの読み取りなどの要素を組み合わせ。
- UiPath・・・RPAプラットフォームを開発するグローバルなソフトウェア会社。ルーマニア発。
- WinActor・・・NTTデータ製